



マンスリーレポート report

report

■2007年9月のマンスリーNEWS

■コラム

■アークル自販機設置先オーナー様へ大切なお知らせ（フルサービス先）

先月号でお伝えした通り今月のリポート報告から新しいシステムを利用したものとなります。



旧方式：カウンターによる本数から

新方式：ハンディーターミナルから算出する本数から

尚、ご不明な点などがありましたらお気軽にお問い合わせください。

新システム導入なんとか終わりました。さて今後このシステムをお客様のためにどう役立てるかが、今後重要な課題となってきます。今後もよろしくお願いいたします。

そこで、毎月お送りしているリポートの表現方法も変わりますのでご了承ください。

■コラム

■ダイドー秋冬新製品情報



「あずき抹茶ミルク」

まろやかなミルクに抹茶とこしあんを贅沢に加えた和風デザート飲料が登場！！

「マイルドココア」

秋冬の定番！本格ココアがリシール缶で登場！！

「ビタミンC組」

ホットでもコールドでもおいしく味わえる。ビタミンCにクエン酸を加えた元気系果汁飲料！

「帰ってきたこんがりミルクセーキ」

人気のおやつドリンク“こんがりミルクセーキ”が帰ってきた！

手作り感あふれるまろやかな味わいと8種類のパッケージが楽しめる！

■コラム

■サントリー秋・新コーヒー



BOSS レジェンドブレンド



BOSS 贅沢微糖

秋冬に向けて新製品BOSSです。

併せて、地中海と楽園が無くなりますのでよろしくお祈いします。

(特徴)

レジェンドブレンド

エチオピアのコーヒーを知り尽くした、エチオピア最大の生産者団体「オミロア農協」をパートナーに「フルーティーで気品のある香り」を持つ新オリジナルコーヒー豆「LEGEND(レジェンド)」を共同開発して作られました。

贅沢微糖

デザインは金一面のエンボス加工を施し、ちょっとリッチな感じを出しました。いい豆を厳選して使用しているとのこと。

■コラム

■次なる商品は??

近年の飲料市場での流れはアミノ系のスポーツドリンクが5年前に火はつき、3~4前は日本茶ブーム、そして昨年あたりからミネラルウォーターがすごい勢いとなっています。このミネラルウォーターの流れは変わらないと思われませんが、ひそかに炭酸入り無糖飲料が伸びてきているのを皆さんご存知ですか？

◆無糖炭酸飲料：「大人味」が人気、1年で販売額4倍 7/31毎日新聞より

薄味の果汁や香りを加えた無糖の炭酸飲料が人気を集めている。同じ無糖でも「お茶やミネラルウォーターでは物足りない」という若年層の需要で、販売量が急増。大手飲料メーカーは夏に向けて相次いで新製品を投入し、更なる売り上げ増を目指している。

無糖炭酸飲料は仏産の「ペリエ」などが知られているが、一般向けには広がっていなかった。06年にキリンビバレッジが初めて「キリンNUDA（ヌーダ）」を発売。さっぱりした飲みくちが受け、1年で200万ケースと予想以上の人気を集めたことから、伊藤園やポッカコーポレーション、コカ・コーラグループなども続々と参入した。

伊藤園は7月16日に沖縄産シークワサーの酸味とペパーミントの風味を楽しむ「ハーバルスパークリング フルーツミント」を発売。同社としては4種類目の無糖炭酸飲料で、来年4月末までに5万ケースの販売を目指す。

キリンビバレッジも同24日、NUDAシリーズの第2弾としてグレープフルーツの香りとホップの苦みを加えた新製品を投入。「夏場に需要を増やし、国内市場を広げたい」と意気込む。民間調査会社、富士経済によると、無糖炭酸飲料の06年の販売額は前年比4倍の161億円と一気に拡大。07年は前年比35%増の218億円と予測されている。

まだまだ市場が小さいですが、ヨーロッパでは炭酸入りのミネラルウォーターはとても一般的に飲まれているようです。

レストランでミネラルウォーターを頼むと、ガス入りかどうか聞かれるほどです。さて日本市場ではいかかでしょうか？

■コラム

■自販機の時代



設置台数550万台、販売金額7兆円を誇る自販機王国・日本。

これまでの成長を陰で支えたのは、電機業界の主流からは外れた異能の仕事師たちだった。

昭和30年代からの歩みを男たちのドラマとして描くノンフィクションです。

私たち飲料業界関係者でなくとも、面白く読める本です。

今回はフローチャートにしてみました。

クリスピークリーム

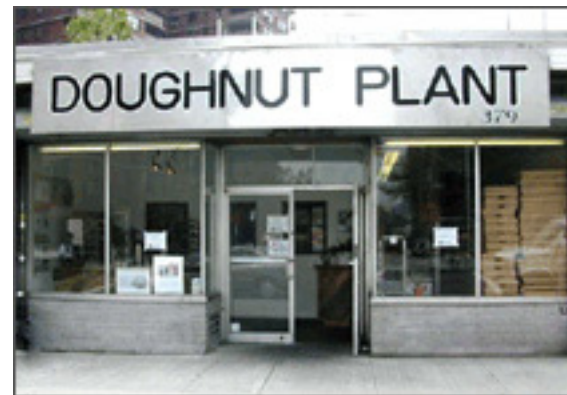
「オリジナル・グレーズド」ドーナツ製造工程

ツ店。無添加、無漂白の小麦粉とオーガニックの砂糖といった自然素材にこだわり、すべてハンドメイドで仕上げられたパンのような「ベーカリードーナツ」は瞬く間に人気となり、マーサ・スチュワート、ウィル・スミス、ビル・コスビーなど、多くの著名人を巻き込んで話題のドーナツ店となりました。

ニューヨークの本店には観光バスが訪れるような名所にもなっています。



ドーナツプラントニューヨーク本店



ドーナツプラント白金店

ここで、約10年前の日本の喫茶業界を思い出してみてください。10年前までは高級なセルフ式コーヒーショップというカテゴリーが存在しませんでした。

その何もない市場にスタバが市場確立をして、タリーズやエクセルシオール、カフェドクリエなどが参入して大きな市場を作りあげました。今のドーナツ業界も10年前の喫茶業界と非常に似ているかもしれません。

現在はミスタードーナツだけが安価なドーナツ市場を作り上げますが、このように高級カフェ風ドーナツショップが出来、スタバ日本参入の時のような様相を呈し新しい市場ができつつあります。このような状況の中で、ミスタードーナツも指をくわえて見ているだけではありません。早速新たな業態に参入を果たしました。

それは「アンドナンド」と言い、1号店は渋谷公園通りにあります。ドーナツも180円・250円と高級路線です。お店もおしゃれなカフェ風の作りになっています。また「リル・ドーナツ」というミニドーナツで新たに参入しているお店もあります。1号店は豊洲のららぽーとにあります。

さて、このドーナツ戦争今後の行方はどうなることか？興味津々です。

■コラム

■激ウマ!B級グルメ情報 第5弾

今回のレポートは中国の火鍋です。個人的に三国志が好きなこともあり、4年前に四川省・成都を訪れました。そうすると、もちろん食事は四川料理となるわけです。

四川料理の特徴は山椒(花椒)を使った舌の痺れるような刺激的な辛さです。

その四川料理で最も有名な料理の1つが、中国の庶民の味として代表的な料理でもある火鍋です。火鍋とは日本でいうところの鍋料理。もっともポピュラーなのは、Sの字で二つに仕切られた鍋に、真っ赤で辛いスープの麻辣湯と、白くてまろやかなスープの白湯の両方の味が楽しめる鍋です。そこにいろいろな具材を入れ、タレにつけて食べます。

この料理のポイントはスープです。真っ赤で辛い麻辣湯の中には大量の唐辛子や山椒、なつめ、



羊マークがお店のトレードマーク

にんにく、八角、クコの実、クローブなどがてんこ盛りにはっています。

今回訪れたのは渋谷にある「小肥羊（しゃおふえいやん）」です。1999年に内モンゴルに1号店を出して以来7年間で700店以上を展開する中国第2位の外食チェーンだそうです。

お店の名前にもなっているように、具材の主はラム肉になります。ラム肉の臭みをとるために作られた特製スープってわけです。

早速ぐらぐら熱くなったスープだけをレンゲですくい、口にふくんでみます。麻辣湯は咳込むぐらい辛いのにに対して白いスープはとてもまろやかです。どちらのスープも奥深くいろいろな漢方な香りがします。



店員さんによると、中国人はまず肉をどさっと全て鍋に入れてしまうそうです。日本人は野菜類を先に入れ、肉はしゃぶしゃぶして食べるのが多いそうです。

さっそくラムに挑戦。やはりラム独特の臭みがありますが、なんと不思議なことにスープとあいまると臭みが気にならなくなります。

最後はスープの中に残った具材を全て取り除き、ご飯と卵を入れ”おぢや”にします。おなか一杯で終了です。

とてもヘルシーで、真夏に汗をかきかき火鍋を食べるっていうのもなかなかでした。

<http://www.hinabe.net/>

是非お試しあれ。場所は渋谷のセンター街にあります。

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

今夏はハンディーターミナルの導入もあって、みんなでルート同行をしました。

酷暑もあってなかなか大変でした。オオクワ80mmさんはルートキャンプと銘打ってルート同行に励んでおりました。

ただいまブログは9名が更新中です。

- ・所長のブログ（小田原H所長）
- ・チーフの給湯室（小田原Mチーフ）
- ・情報最前線（海老名K所長）
- ・促進課目玉オヤヂ（販売促進課Hさん）
- ・促進課オヨヨ
- ・販促課オオクワ80mm

- ・産地直送！新鮮ネタ（海老名Nチーフ）
- ・つんつるてんおのおの方『**たまに更新**』
- ・古本おやじの独り言（98キロの人面冷凍マグロ）



オオクワ80mmさんのオオクワです

今月は以上です。又、来月号も宜しく申し上げます。

■2007年度のマンスリーNEWS

➔	2007.08	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.07	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.06	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.05	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.04	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.03	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.02	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.01	アークル マンスリーNEWS

■マンスリーNEWS アーカイブ

➔	最新	マンスリーNEWSトップページ
➔	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
➔	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➔	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ
➔	番外編	マンスリーレポート番外編